

EV 用急速充電器を「SERA」シリーズとして展開

1 はじめに

東光高岳は、現在広くご採用いただいている電気自動車（以下、EV）用急速充電器シリーズ（HFR1-120B10／HFR1-30B9, HFR1-50B9／HFR1-15B11）を新たなブランド「SERA（セラ）」シリーズとして展開する。

2 誕生の背景

近年、経済社会システム全体の GX（グリーントランスフォーメーション）化に伴い EV 普及率が上昇する中、日本政府は 2035 年までに乗用車新車販売における EV の比率を 100% とする目標を掲げている。また、それに合わせ、EV 用急速充電器をはじめとする EV 充電インフラの設置目標数を 2030 年までに 30 万口にまで伸ばし、ガソリン車並みの利便性の実現を目指すとなっている。

一方、東光高岳は「変わらぬ使命」と「新たな使命」の 2 つの使命を果たすことで、エネルギーの未来を切り拓いていくことを「サステナビリティ基本方針」で掲げている。

「変わらぬ使命」

電力の安定供給や効率的利用を支える機器・システムの提供を通して、豊かで快適な暮らしや社会経済活動の発展に貢献する

「新たな使命」

カーボンニュートラル、地域の防災・レジリエンス強化等の新たな社会的課題に対するソリューションを創造し、持続可能な社会の実現に貢献する

東光高岳の掲げる 2 つの使命のうち、「新たな使命」を果たすべく、来るべき EV 社会を支える充電インフラ事業へこれまで以上に真摯かつ真剣に取り組んでいくことを宣言するため、開発・販売している EV 用急速充電器に、東光高岳の想いを込めた新たなブランド名を付与することとした。



SERA

Seamless Energy Relations & Activation

デザイン文字：東光高岳の登録商標第 6821584 号

ロゴマーク：東光高岳の登録商標第 6824520 号

図 1 SERA のロゴデザイン

3 「SERA」に込めた東光高岳の想い

SERA という名称には、「未来の存在」という意味に加えて、Seamless, Energy, Relations, Activation 「シームレスに（境界なく）エネルギーをつなげてイキイキ活性化させていく（エネルギーの未来を切り拓く）」ことで、未来の EV エネルギーネットワークをデザインする（持続可能な社会の実現に貢献する）存在でありたい。」という想いが込められている。

EV 用急速充電器の国内累計販売台数ナンバーワンの実績をもとに、次代の EV エネルギーネットワークを支えるブランド「SERA」を掲げ、新たなエネルギー社会の実現をブランドミッションに、未来を照らし社会をワクワクさせるような「新しい時間・体験」を創出していきたいと考えている。



図 2 SERA シリーズラインアップ

GX ソリューション事業本部